

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	ワインディングを始めるにあたって	ワインディングに使う美容用語					
第2回		机上設置と用具の説明・ウィッグの手入れ方法					
第3回		コームの名称、持ち方、パートの取り方、					
第4回	道具の使い方	ブロッキングの説明					
第5回	ブロッキング	正中線をまっすぐ、狭く、広くとる練習					
第6回		センターブロッキングをとる					
第7回							
第8回	上巻き	ブロッキング、センター、1〜4ブロッキングを取る					
第9回		ロッドとペーパーで上巻き練習・デモンストレーション					
第10回							
第11回	下巻き	デモンストレーション、下巻き実践					
第12回							
第13回							
第14回	センター	センターをまっすぐに巻けるように練習					
第15回							
第16回							
第17回	バックサイド	バックサイド巻き方説明・デモンストレーション					
第18回		左右バックサイド実践					
第19回							
第20回	サイド	サイド巻き方説明・デモンストレーション					
第21回		実践					
第22回							
第23回	バックサイド サイド	バックサイド・サイドの練習					
第24回							
第25回							
第26回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第27回							
第28回							
第29回	下巻き・上巻きチェック	巻き方のチェック					
第30回							
第31回							
第32回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第33回							
第34回							
第35回	チェックテスト	ブロッキング5分					
第36回		ワインディング35分チェックテスト					
第37回							
第38回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第39回							
第40回							
第41回							
第42回							
第43回							
第44回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測					
第45回							
第46回							
第47回							
第48回							
第49回							
第50回							
第51回							
第52回							
第53回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第54回	基本の見直し	スライスに対して並行・ベースに収める 面・シェーブの見直し					
第55回							
第56回							
第57回							
第58回	前期試験に向けて	試験対策					
第59回							
第60回							
第61回							
第62回	基本の見直し	オールパーパス見直し					
第63回							
第64回							
第65回							
第66回	新課題	使用ロッド・ブロッキング説明					
第67回							
第68回							
第69回							
第70回	新課題 (ブロッキング別)	ブロッキング・スライス・オンベース部分・ オフベース部分・スライス線・ステム確認・ オンベース強化・ 【理論の理解】説明・確認・強化					
第71回							
第72回							
第73回							
第74回							
第75回							
第76回							
第77回							
第78回	新課題 (12ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化					
第79回							
第80回							
第81回							
第82回	新課題 (４ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化・ ブロッキング強化・タイム意識					
第83回							
第84回							
第85回							
第86回	新課題 (４ブロッキング)	チェックテスト					
第87回							
第88回							
第89回							
第90回	総復習	総復習					
第91回							
第92回							
第93回							
第94回							
第95回							
第96回							
第97～137回	総復習	総復習					
第138回	後期試験	新課題20分					
第139回							
第140回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第141回	ストレートパーマ	根元のストレートパーマ					
第142回							
第143回							
第144回							
第145回	パーマ	毛先のパーマ					
第146回							
第147回							
第148回							
第149回	フィンガーウェーブ	ローションの馴染ませ方					
第150回		ウェーブ、リッジの作り方					
第151回							
第152回							
第153回	フィンガーウェーブ	ウェーブ、リッジの作り方					
第154回							
第155回							
第156回							
第157回	スカルプチュアカール	スカルプチュアカールの作り方					
第158回							
第159回							
第160回							
第161回	スカルプチュアカール	ブロッキング、噴水の仕方、スライスの取り方、スカルプチュアカール					
第162回							
第163回							
第164回							
第165回	2 段目	ウェーブバランス					
第166回							
第167回							
第168回							
第169回	3 段目	ウェーブバランス ピンカールの配置 3 段目のバランス スカルプチュアカール 全体のバランスの確認					
第170回							
第171回							
第172回							
第173回	1 ～ 3 段目の復習	ウェーブの確認 タイムアップ					
第174回							
第175回							
第176回							
第177回	4 ～ 7 段目	ブロッキング、ウェーブのバランス					
第178回							
第179回							
第180回							
第181回	リフトカール	リフトカールの作り方					
第182回							
第183回							
第184回							
第185回	リフトカール	リフトカールの作り方					
第186回							
第187回							
第188回							
第189回							
第190回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第191回	メイポールカール	メイポールカールの作り方					
第192回							
第193回							
第194回							
第195回	クロッキーノールカール	クロッキーノールカールの作り方					
第196回							
第197回							
第198回							
第199回	ピンカール強化	全部のピンカール強化					
第200回							
第201回							
第202回							
第203回	ウェーブ、ピンカールのバランス強化	ウェーブとピンカール両方のバランス強化					
第204回							
第205回							
第206回							
第207回							
第208回							
第209回							
第210回							
第211回							
第212回							
第213回							
第214回							
第215回							
第216回							
第217回							
第218回							
第219回							
第220回							
第221～230回	タイムアップ	タイムアップ全頭40分					
第231～240回	タイムアップ	タイムアップ全頭35分					
第241～260回	タイムアップ	タイムアップ全頭30分					
第261～280回	タイムアップ	タイムアップ全頭25分					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第281回	カットの流れ・説明	自己紹介・カットの流れ・道具説明・キャリング・ブロッキング					
第282回	ワンレングス	キャリング・4ブロッキング・ワンレングスデモ・カット					
第283回	ワンレングス	キャリング・4ブロッキング・ワンレングスデモ・カット					
第284回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第285回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第286回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第287回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第288回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第289回	ワンレングス	キャリング・ワンレングスカット・ブロー					
第290回	ワンレングス	ワンレングスカット・ブローチェックテスト					
第291回	ワンレングス	ワンレングスカット・ブローチェックテスト					
第292回	ワンレングス	ワンレングスカット・ブローチェックテスト					
第293回	グラデーションボブ	グラデーションボブデモ・カット					
第294回	グラデーションボブ	グラデーションボブデモ・カット					
第295回	グラデーションボブ	グラデーションボブデモ・カット					
第296回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー					
第297回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー					
第298回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー					
第299回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー					
第300回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー					
第301回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー・チェックテスト					
第302回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー・チェックテスト					
第303回	グラデーションボブ	グラデーションボブカット・ブロー・チェックテスト					
第304回	グラデーションボブ	レイヤーカット・ブロー					
第305回	グラデーションボブ	レイヤーカット・ブロー					
第306回	グラデーションボブ	レイヤーカット・ブロー					
第307回	グラデーションボブ	レイヤーカット・ブロー					
第308回	グラデーションボブ	レイヤーカット・ブロー					
第309回	サスーンスタイル	レイヤーカット・ブローチェックテスト					
第310回	サスーンスタイル	レイヤーカット・ブローチェックテスト					
第311回	サスーンスタイル	レイヤーカット・ブローチェックテスト					
第312回	サスーンスタイル	サスーンスタイルデモ・カット					
第313回	サスーンスタイル	サスーンスタイルデモ・カット					
第314回	サスーンスタイル	サスーンスタイルデモ・カット					
第315回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット					
第316回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット					
第317回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー					
第318回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー					
第319回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー					
第320回	サスーンスタイル	サスーンスタイルカット・カラー					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第321回	1 年の流れ	カラーの考え方ややり方を伝える					
第322回	道具説明	ハケ、カップなど（クリーム作り）					
第323回	ブロッキング	ハケの持ち方、使い方を伝え スライスを取りダッカードとめる					
第324回	ブロッキング						
第325回	グレイカラー	4 ブロックの縁取りをし塗布 顔に薬剤をつけない					
第326回	グレイカラー						
第327回	グレイカラー	サイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第328回	グレイカラー	サイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第329回	グレイカラー	バックサイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第330回	グレイカラー	バックサイド塗布 スライス幅パネルの角度					
第331回	グレイカラー	クロスチェックまで					
第332回	グレイカラー	クロスチェックまで					
第333回	グレイカラー	タイム測定					
第334回	テスト	グレイカラー 仕上げまで					
第335回	テスト	グレイカラー 仕上げまで					
第336回	テスト	グレイカラー					
第337回	おしゃれ染め	理論（中間塗布、根元塗布、毛先塗布） デモンストレーション					
第338回	おしゃれ染め						
第339回	おしゃれ染め	中間塗布 パネルの角度、塗布幅					
第340回	おしゃれ染め						
第341回	おしゃれ染め	毛先塗布					
第342回	おしゃれ染め	中間、毛先塗布後根元塗布					
第343回	おしゃれ染め						
第344回	毛髪理論	毛先の色、本数などの基本					
第345回	色彩学	色のイメージ効果 3属性、3 色					
第346回	薬剤理論	薬剤の種類					
第347回	薬剤理論	メリット、デメリット					
第348回	マニキュア	理論、デモンストレーション					
第349回	マニキュア	塗布					
第350回	ホイルワーク	ブロッキング					
第351回	ホイルワーク	11ブロック					
第352回	ホイルワーク	ブロッキング					
第353回	ホイルワーク	スライシング					
第354回	ホイルワーク	ウィービング					
第355回	理論	カウンセリング					
第356回	理論	カウンセリング					
第357回	薬剤選定	相モデルの薬剤設定をし塗布する順番を考える					
第358回	薬剤選定						
第359回	相モデル	2 人 1 組で薬剤を使用し染める					
第360回	相モデル						

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第361回	リアシャンプー	シャンプーの目的・ブラッシングの目的・手順					
第362回	リアシャンプー	相モデルにてタオルがけ～ブラッシング実習					
第363回	リアシャンプー	相モデルにてタオルがけ～ブラッシング実習					
第364回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第365回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第366回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第367回	リアシャンプー	相モデルにてスキャルブマッサージ実習					
第368回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第369回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第370回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第371回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第372回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第373回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第374回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第375回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第376回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第377回	リアシャンプー	リアシャンプー・ブレーンリンスデモ実習					
第378回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第379回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第380回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第381回	リアシャンプー	相モデルにてリアシャンプー・ブレーンリンス実習					
第382回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第383回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第384回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第385回	リアシャンプー	相モデルシャンプー・チェックシートで確認					
第386回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第387回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第388回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第389回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					
第390回	ヘッドスパ	ヘッドスパ実習					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	14単位	対象学年	1 年
担当教員	阿部 岩本 大野 尾崎 恩地 木下 清水 中村 藤本 渡部	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 基礎のヘアカラーの塗布・シャンプーの接客、実習 ブラシの持ち方から一束結、シニヨン、夜会、編み込み、コンテストスタイルなど						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第391回	基礎 一束	・道具説明 ・似合わせ ・ブラシの使い方 ・ゴムのくくり方					
第392回							
第393回	仕込み 一束	・基本のブロッキング ・ブロー ・ワックスのつけ方 ・土台 ・ゴムのくくり方					ドライヤー、 ワックス必要
第394回							
第395回	シニヨン（面）	・すき毛（たわらの作り方） ・上下のシニヨンの作り方 ・ピンニング ・コームワーク					
第396回							
第397回	シニヨン（くずし）	・ピンニング ・コームワーク ・シニヨンのくずし方 ・すき毛（にんじんの作り方）					
第398回							
第399回	シニヨン（カール）	・ブロッキング ・コームワーク ・すき毛のつけ方 ・毛先のちらし方					
第400回							
第401回	夜会	・本夜会					
第402回							
第403回	夜会	・重ね夜会（逆毛の立て方）					
第404回							
第405回	編み込み	・編み込み（表、裏）					
第406回							
第407回	コンテスト	・逆毛を立てて面を生かしたスタイル					
第408回							
第409回	アレンジ①基礎	・ホットカーラーの使い方とサロンスタイル					ホットカーラー、 コテ必要
第410回							
第411回	アレンジ②	・ホットカーラー ・コテ ・モヒカンスタイル					
第412回							
第413回	アレンジ③	・サロンスタイル					
第414回							
第415回	アレンジ④	・サロンスタイル					
第416回							
第417回	相モデル	撮影					
第418回							
第419回	自由制作	コンテスト					
第420回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第421回	配列 シェーブ ステムの確認、強化 センターの強化	・チェックテスト（20分） ・ブロッキング、スライス線などの確認と練習 ・センターのロッドの位置（正中線）、水平の確認と練習 ・センターのスライス線、ステムの角度の確認と練習 ・ブロック毎、全頭のタイム取り など					初回授業チェックテスト（20分）
第422回							
第423回							
第424回							
第425回							
第426回							
第427回							
第428回							
第429回							
第430回							
第431回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列 の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認					
第432回							
第433回							
第434回							
第435回							
第436回							
第437回							
第438回							
第439回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列 の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認					
第440回							
第441回							
第442回							
第443回							
第444回							
第445回							
第446回							
第447回		・チェックテストに向けての練習 ・チェックテストにて技術レベルの確認と底上げ					
第448回							
第449回							
第450回							
第451回							
第452回							
第453回							
第454回							シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分
第455回							
第456回							
第457回							
第458回							
第459回							
第460回							
第461回							
第462回							
第463回							
第464回							
第465回							
第466回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第467回	配列 シンメトリー強化 ラバーのかけ方強化 全頭タイム20分	・バックサイド・サイドのシンメトリー ・スライス線のゆがみ 《ラバーのかけかた》 ・ロッドの中央に平行にかける					
第468回							
第469回							
第470回							
第471回							
第472回							
第473回							
第474回							
第475回	国家試験採点基準を 元にレベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ					
第476回							
第477回							
第478回							
第479回							
第480回							
第481回	国家試験採点基準を元 にレベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ					
第482回							
第483回							
第484回							
第485回							
第486回							
第487回	国家試験採点基準を元 にレベルアップ 全頭タイム18分	・タイムアップ（時間に余裕をつくる） ・前期試験にむけてレベルアップ 《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ ・○×採点項目確認					
第488回							
第489回							
第490回							
第491回							
第492回							※前期試験20分
第493回							
第494回							
第495回							
第496回							
第497回							
第498回							
第499回							
第500回							
第501回							
第502回							
第503回							
第504回							
第505回							
第506回							
第507回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第508回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分 国家試験衛生対策	《採点基準》 ・ ロッドのつながりと配列 ・ ステムの角度と方向性 ・ シェーブ ・ シンメトリ 《衛生対策》 ・ 準備時間の練習 ・ 整理時間の練習 ・ 用具類の衛生・用具類の取り扱い ・ 身体、服装の衛生 ・ 禁止事項 など					
第509回							
第510回							
第511回							
第512回							
第513回							
第514回							
第515回							
第516回							
第517回							
第518回							
第519回							
第520回							
第521回							
第522回							
第523回							
第524回							
第525回							
第526回							
第527回							
第528回							
第529回							
第530回							
第531回							
第532回							
第533回							
第534回							
第535回							
第536回							
第537回							
第538回							
第539回							
第540回							

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第541回	1, 3, 7段 ピンカール	1 年時の復習					
第542回		〃					
第543回		〃					
第544回		〃					
第545回		〃					
第546回		〃					
第547回		〃					
第548回		〃					
第549回		オールウェーブのバランス（ブロッキング）					
第550回		〃					
第551回		〃					
第552回		〃					
第553回		〃					
第554回		〃					
第555回		〃					
第556回		〃					
第557回		各カールの復習					
第558回		〃					
第559回		〃					
第560回		〃					
第561回		〃					
第562回		〃					
第563回		〃					
第564回		〃					
第565回	右リフトカール	デモンストレーション・実習					
第566回		〃					
第567回		〃					
第568回		〃					
第569回		〃					
第570回		〃					
第571回		〃					
第572回		〃					
第573回		〃					
第574回		〃					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第575回	右リフトカール	〃					
第576回		〃					
第577回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第578回		〃					
第579回		〃					
第580回		〃					
第581回		〃					
第582回		〃					
第583回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第584回		〃					
第585回		〃					
第586回		〃					
第587回		〃					
第588回		〃					
第589回	左リフトカール	デモンストレーション・実習					
第590回		〃					
第591回		〃					
第592回		〃					
第593回		〃					
第594回		〃					
第595回		〃					
第596回		〃					
第597回		〃					
第598回	メイポールカール	デモンストレーション・実習					
第599回		〃					
第600回		〃					
第601回		〃					
第602回		〃					
第603回		〃					
第604回		〃					
第605回		〃					
第606回		〃					
第607回		〃					
第608回		〃					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第609回	クロッキーノールカール（全部）	タイム計測					
第610回		〃					
第611回		〃					
第612回		〃					
第613回		〃					
第614回		〃					
第615回		〃					
第616回		〃					
第617回		〃					
第618回		〃					
第619回	オールウェーブブロッキングまで	タイム計測					
第620回		〃					
第621回		〃					
第622回		〃					
第623回		〃					
第624回		〃					
第625回		〃					
第626回		〃					
第627回		〃					
第628回	オールウェーブブロッキングまで	タイム計測					
第629回		〃					
第630回		〃					
第631回		〃					
第632回		〃					
第633回		〃					
第634回	国家試験課題 ノーパート7段構成	タイム計測（30分）					
第635回		〃					
第636回		〃					
第637回		〃					
第638回		〃					
第639回		〃					
第640回		〃					
第641回		〃					
第642回		〃					
第643回		〃					
第644回		〃					
第645回		〃					
第646回	〃						
第647～660回	国家試験課題 ノーパート7段構成	タイム計測（25分）					
		国家試験課題タイム合格レベルに					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第661回	サイドシャンプー	シャンプーブレーンリンスデモ					
第662回	サイドシャンプー	シャンプーブレーンリンスデモ					
第663回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第664回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第665回	サイドシャンプー	サイドシャンプーブレーンリンス相モデル実習					
第666回	サイドシャンプー	サイドシャンプーデモ					
第667回	サイドシャンプー	サイドシャンプーデモ					
第668回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第669回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第670回	サイドシャンプー	サイドシャンプー相モデル実習					
第671回	サイドシャンプー	サイドシャンプー 手順チェックテスト					
第672回	サイドシャンプー	サイドシャンプー 手順チェックテスト					
第673回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合格者の強化					
第674回	サイドシャンプー	サイドシャンプー不合格者の強化					
第675回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第676回	サイドシャンプー	ヘッドスパ実習					
第677回	サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第678回	サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第679回	リア、サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					
第680回	リア、サイドシャンプー	サロンシャンプー実習					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第681回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書					
第682回	頭部ポイント ブロッキング	ヘッドシート記入、ブロッキングデモ、実習					
第683回	机上設置、道具説明 ブロッキング	道具の説明、ブロッキング実習タイムどり					
第684回	アウトライン	アウトラインデモ、実習					
第685回	ネーブセクション カット	ネーブセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第686回		ネーブセクション実習					
第687回	ミドルセクション カット	ミドルセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第688回		ミドルセクション実習					
第689回	トップセクション カット	トップセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第690回		トップセクション実習					
第691回	フロントサイドセク ションカット	フロントサイドセクションヘッドシート記入、デモ、実習					
第692回		フロントサイドセクション実習					
第693回	復習	各セクションのカットの手順確認					
第694回							
第695回							
第696回							
第697回							
第698回							
第699回							
第700回							
第701～702回	タイム計測	タイム40分計測					
第703～705回	タイム計測	タイム40分計測					
第706～707回	タイム計測	タイム40分計測					
第708～710回	タイム計測	タイム40分計測					
第711回	準備流れ確認 タイム計測	準備流れ説明、実習、タイム35分計測					
第712～720回	タイム計測 片付け説明	タイム35分計測、片付け説明、実習					
第721～730回	タイム計測	タイム30分計測					
第731～745回	タイム計測	タイム25分計測					
第746～770回	タイム計測	タイム20分計測					
第771～790回	タイム計測	タイム19分計測					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (ワインディング)	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験課題 ワインディング・オールウェーブセッティング・カットの技術の習得 シャンプーの接客、実習						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、実習用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第791回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書					
第792～800回	配列 シェーブ ステムの確認、強化 センターの強化	・ブロッキング、スライス線などの確認と練習 ・センターのロッドの位置（正中線）、水平の確認と練習 ・センターのスライス線、ステムの角度の確認と練習 ・ブロック毎、全頭のタイム取り など					
第801～815回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認					
第816～820回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	・センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化 ・左右のシンメトリー ・バックサイドのラウンド ・○×採点の審査項目確認					
第821～825回		・チェックテストに向けての練習 ・チェックテストにて技術レベルの確認と底上げ					
第826～833回	シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分	《シェーブ》 ・ストランドのシェーブ ・毛髪の重なり、ゆるみ ・毛先の処理 《ステムの角度と方向性》 ・オンベースと1/2オフベースのステムの状態 又そのつながりの状態 ・ステムの角度・方向とロッドの浮き 《フロント》 ・フロントのスライスの取り方とロッドのおさまり					
第834～842回	配列 シンメトリー強化 ラバーのかけ方強化 全頭タイム20分	・バックサイド・サイドのシンメトリー ・スライス線のゆがみ 《ラバーのかけかた》 ・ロッドの中央に平行にかける					
第843～851回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリー					
第852～855回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリー					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (ワインディング)	区分		必修		単位数	16単位	対象学年	2年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験		有				コース	全コース
学修内容	国家試験第2課題（ワインディング・20分）ワインディング技術習得 採点基準・ワインディング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説								
到達目標	美容師国家試験合格および後実技記試験で60点以上必達								
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。								
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。								
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンをを行い、技術の完成度を高める								
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく								
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、ワインディング道具一式								
履修に当たっての留意点									
各コマにおける授業計画									
回	主 題	授 業 内 容						備 考	
第856～870回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分	・タイムアップ（時間に余裕をつくる） 《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ ・〇×採点項目確認						シミュレーション	
第871～900回	国家試験採点基準を元にレベルアップ 全頭タイム18分 国家試験衛生対策	《採点基準》 ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ						シミュレーション	
		《衛生対策》 ・準備時間の練習 ・整理時間の練習 ・用具類の衛生・用具類の取り扱い ・身体、服装の衛生 ・禁止事項 など						シミュレーション	

2026年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 (セッティング)	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験第2課題（オールウェーブセッティング・25分）セッティング技術習得 採点基準・セッティング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説						
到達目標	美容師国家試験合格						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を 確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の 方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に 必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅰ（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第791回	机上設置、審査基準 衛生解説	国試までの流れ、審査基準等の解説・板書					
第792回	復 習	ウェーブ構成・幅・手順の確認					
第793回		ウェーブ構成・幅・手順の確認					
第794回		ウェーブ構成・幅・手順の確認					
第795～815回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	タイム計測（25分） バランス強化					
第816～825回	国家試験衛生対策	《衛生対策》 ・準備時間の練習 ・整理時間の練習 ・用具類の衛生・用具類の取り扱い ・身体、服装の衛生 ・禁止事項 など					
第826～835回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化					
第836～845回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化					

2026年度 シラバス

科目名	美容実習 国試第2課題 （セッティング）	区分	必修	単位数	16単位	対象学年	2 年
担当教員	泉 奥田 尾崎 恩地 木下 倉津 治村 中村 藤井 吉川 渡部	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	国家試験第 2 課題（オールウェーブセッティング・25分）セッティング技術習得 採点基準・セッティング技術解説 ウィッグによる反復練習 衛生審査基準解説						
到達目標	美容師国家試験合格						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を 確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の 方法と基準	後期 1 回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に 必要な学修の 具体的内容	特になし						
実務経験に基づ く授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 美容技術理論Ⅰ 美容実習Ⅰ（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に 当たっての 留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第846～855回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化					シミュレーション
第856～865回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（24分） バランス強化					シミュレーション
第866～880回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（23分） バランス強化					シミュレーション
第881～900回	国家試験課題 ノーパート 7 段構成	国家試験採点基準を元にレベルアップ タイム計測（23分） バランス強化					シミュレーション